

TOTO

取扱説明書

工事店様
へのお願い

保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様に必ずお渡してください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

定期点検情報掲載

電温ユプロ<給湯専用>

(標準圧力型)

RE2012/RE2012B

RE3712/RE3712B

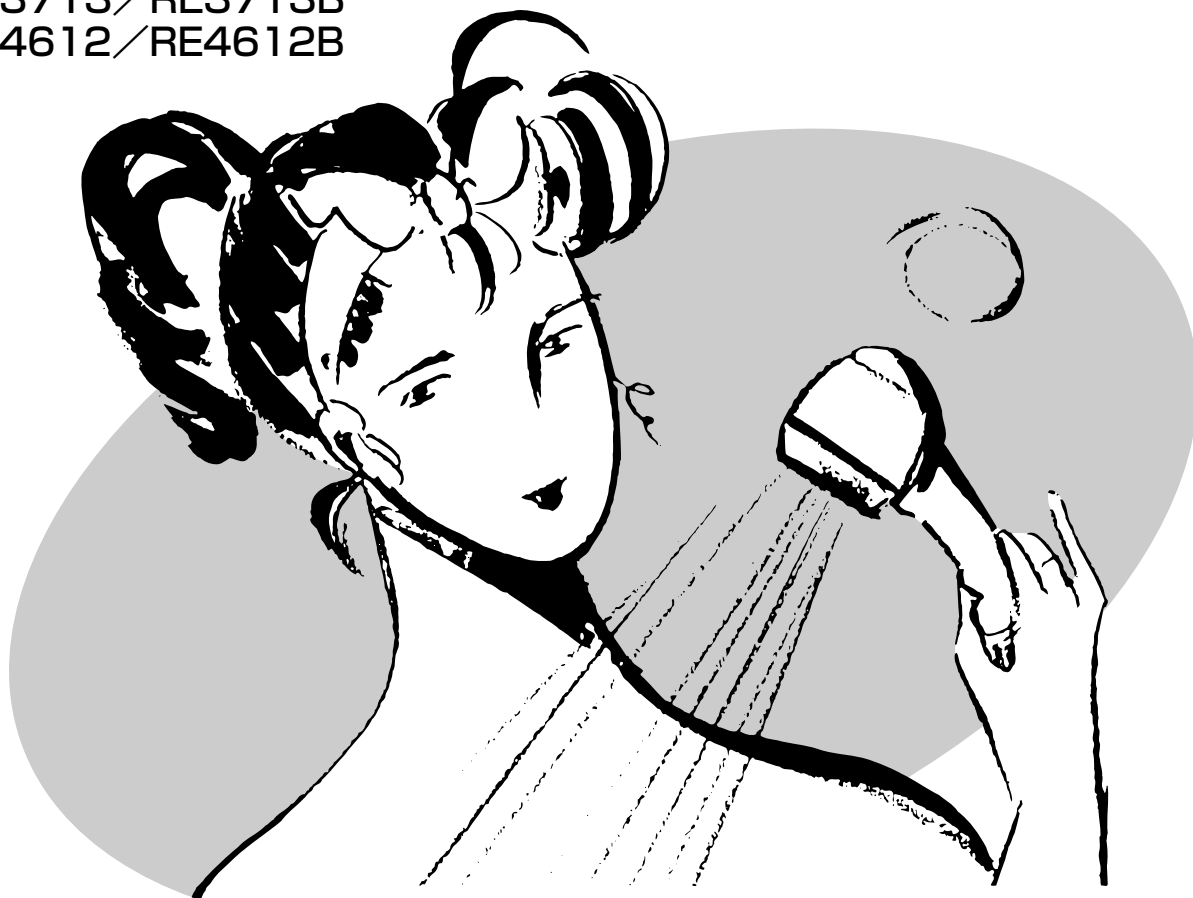
RE3713/RE3713B

RE4612/RE4612B

(高圧力型)

RE3713U/RE3713UB

RE4613U/RE4613UB



ご使用の前に

使用
方法

点検・
お手入れ他

- このたびは、TOTO電気温水器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用前にこの説明書と保証書をお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書と保証書は大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

RE3713U・RE3713UB・RE4613U・RE4613UBは高圧力型電気温水器です。

『労働安全衛生法施行令』が平成10年12月に改正され、小型ボイラーの規制が見直しされたことにより、今までの電気温水器の最高使用圧力が変更され100kPaから200kPaまでの使用が認められました。これにより階上への給湯及びシャワーの使い勝手が向上され、より利便性の高い商品となりました。ただし、一般家庭以外（事業所等）でご使用の際には改正に伴い諸条例が義務付けられています。詳しくは30、31ページをご覧ください。

✦ はじめに ✦

■カンタン操作

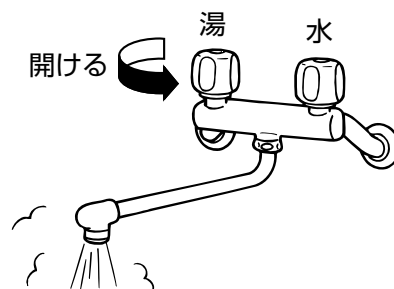
深夜にお湯をわかしているので出湯は給湯栓を開けるだけ。

約85/75/60℃のお湯が出ます。

温度の切替方法は、9ページの「わき上げ温度設定のしかた」をご覧ください。

湯水混合栓でお好みの湯温に調節してお使いください。

湯水混合栓の使用方法は、10ページの「お湯を使う」をご覧ください。



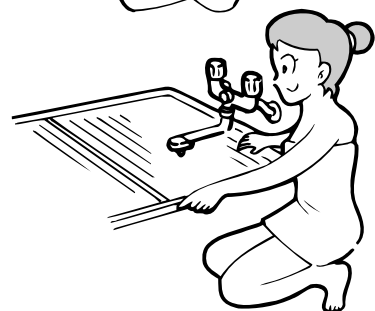
■お湯は大切に

1日に使用できるお湯の量は限られています。

お湯は大切にお使いください。

特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になり、お湯が使えなくなります。〔時間帯別電灯契約にてご使用の場合は昼間のわき増しも可能です。わき増しの方法は13ページの「お湯をたくさん使う（わき増しする）」をご覧ください。〕

- 食器の流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。
- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。
- 入浴は、できるだけ深夜通電時間帯（午後11時～午前7時…一部の地域では異なります）を避けて入浴してください。
深夜通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。
- 浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。



選べる電力契約

この温水器は「時間帯別電灯契約」と「深夜電力契約」のどちらの契約でも使用できます。詳しくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。
※電力契約によって、温水器の設定変更が必要な場合があります。

「時間帯別電灯契約」

ご家庭のすべての電気製品に適用される電力契約。昼間の料金は電灯契約より若干高くなりますが、昼間でもわき増しができるため湯切れの心配がありません。夜間の料金は深夜電力並（昼間の約1/3）ですので夜に電気をたくさん使うご家庭に最適です。

「深夜電力契約」

電気温水器等の蓄熱機器にのみ適用される電力契約。翌日使用するお湯を午後11時～午前7時（一部の地域では異なります。）の間にわかしてためておきます。料金は昼間料金の約1/3です。

✦ もくじ ✦

特に注意していただきたいこと	1
各部のなまえとはたらき	6
使用前の準備	8

ご使用の前に

お湯を使う	10
リモコンの使用法	11

使用
方
法

定期的な点検	16
日常のお手入れ	17
こんなときは	18
凍結による破損の予防について	22
故障かな？と思ったら	23
定期的な部品交換のお願い	26
アフターサービス	27
仕様	28
事業者様へのご案内	30

点検・
お
手
入
れ
他

✦ 特に注意していただきたいこと ✦

<安全に正しくお使いいただくために>

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		感電注意
	分解禁止		必ず実行
	接触禁止		高温注意
	アース工事		

警告

■やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れない
(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

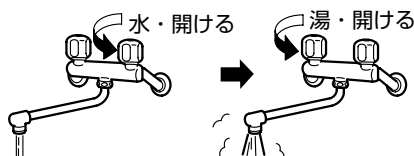
- シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから
(湯温を確認せずにシャワーを浴びるとやけどのおそれがあります。)

指先等で温度を
たしかめて!



高温注意

- お湯を使うときは、まず水から



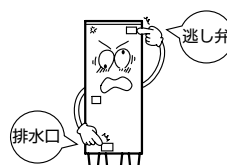
必ず実行

- 使用後は必ず湯側から閉める
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)



必ず実行

- 逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れない
(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

- タンク内の熱湯を直接排水しない
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



禁止

✧ 特に注意していただきたいこと ✧

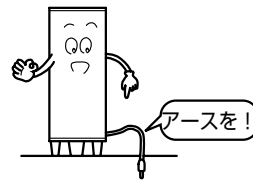
警告

■機器の設置（及び付帯工事）

機器の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店または工事店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
（設置工事に不備があると事故の原因になります）

■アース（D種接地）工事がされていることを確認する

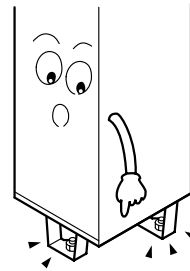
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。アース工事はお近くの工事店に依頼してください。



アース工事

■本体が固定されているか確認する

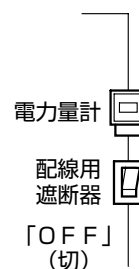
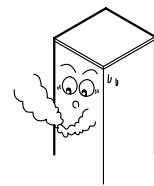
本体の脚がアンカーボルトで固定されているか、また、本体上部が上部振れ止め金具で壁に固定されているか確認してください。
（本体が倒れてけがをするおそれがあります）



必ず実行

■異常時の注意

故障発生時や異常時（こげ臭い、本体及び配管部分からの水漏れなど）は配線用遮断器のレバーを「OFF」（切）にして止水栓を閉じ、お取付け店又は東陶メンテナンス（株）に連絡してください。また、高温の湯が出るおそれもあり危険ですので、お湯の使用・入浴を中止してください。停電時についても、タンク内の高温のお湯が出るおそれがあるので注意してください。

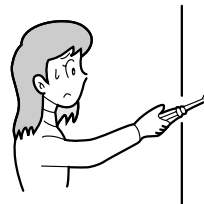


必ず実行

警告

■絶対に分解したり、修理、改造は行わない

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、火災、感電の原因になります)



分解禁止

■近くにガス・灯油類や引火物を置かない

電気温水器の近くにガス、灯油類や引火物を置かないでください。
(発火、火災の原因になります)



禁止

注意

■みだりに飲用はしない

長時間たまっていたお湯は飲料用に用いないでください。
(水質の変化により下痢、腹痛などをおこす場合があります)



禁止

■水道水以外は使用しない

(井戸水等を使用すると腐食等により漏水するおそれがあります)



禁止

■必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器、温水器の電源スイッチを「ON」(入)にする。 (☞ 6・7ページ)



必ず実行

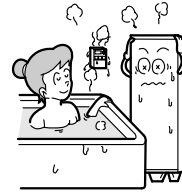
(ヒータが空だきとなり故障の原因になります)

✧ 特に注意していただきたいこと ✧

⚠ 注意

■ 温水器や台所リモコンが浴室などの湿気の多いところに取付けられていないか確認する

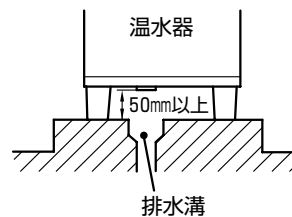
(火災、感電の原因になります)



必ず実行

■ 排水口は、排水溝より50mm以上離れているか確認する

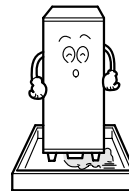
(排水が逆流するおそれがあります)



必ず実行

■ 床面が防水処理・排水処理されているか確認する

(水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります)



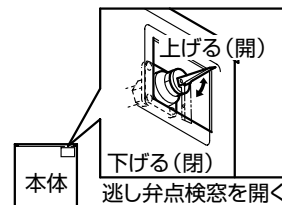
必ず実行

■ 逃し弁を点検する

必ず月に1回逃し弁の点検をしてください。

(☞ 16ページ)

(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因になります)



必ず実行

■ 減圧弁・逃し弁は必ず定期的に交換する (☞ 26ページ参照)

(劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります、大きな被害を与えることがあります)

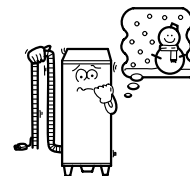


必ず実行

■ 凍結予防対策を確認する

(凍結すると配管などが破裂するおそれがあります)

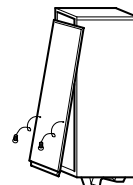
(☞ 22ページ)



必ず実行

■ 前面カバーは絶対に開けない

(ショート、感電のおそれがあります)



禁止

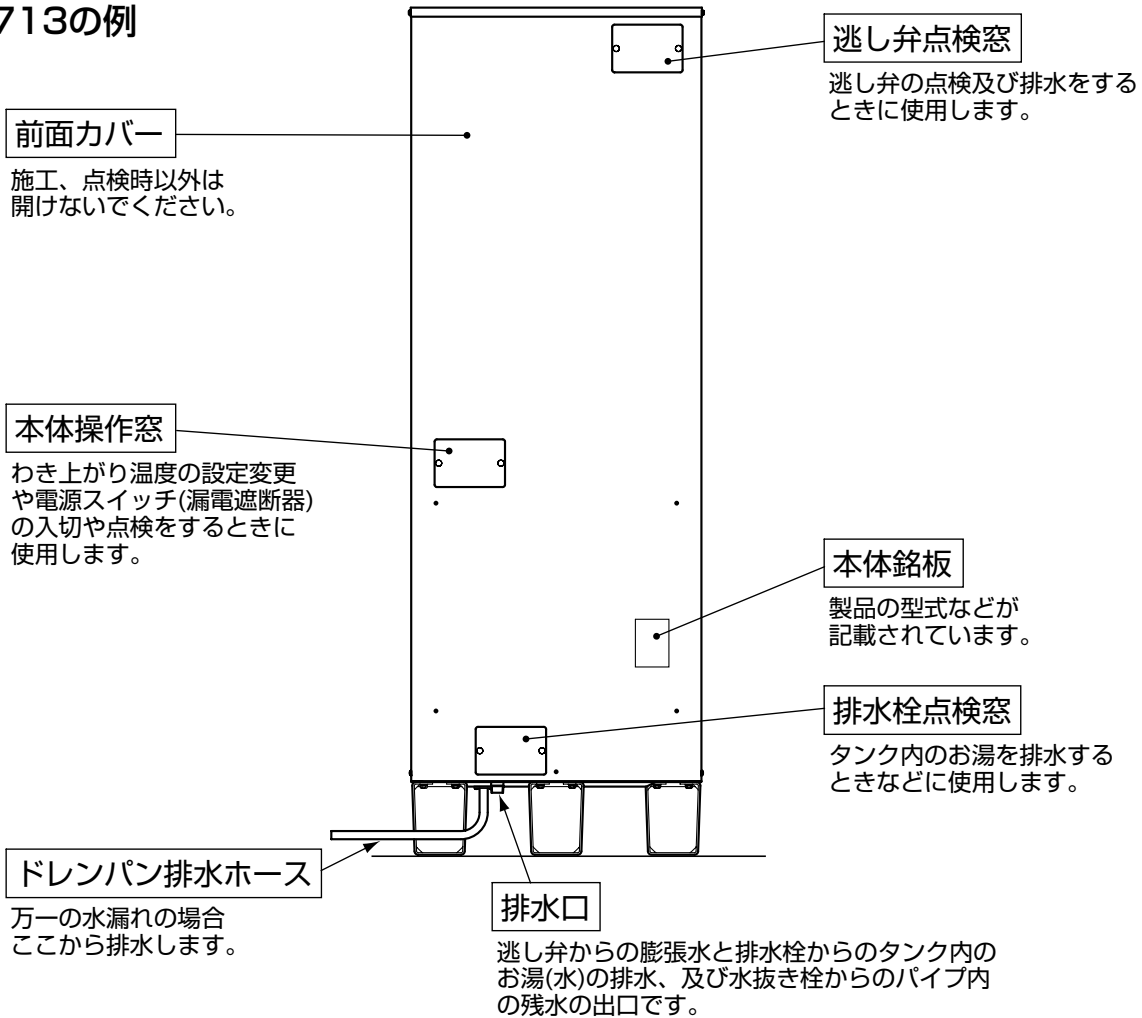
✧ 各部のなまえとはたらき ✧

快適なお湯ライフのため、各部のなまえとはたらきを確認され、上手にお使いください。

各部のなまえとはたらき
特に注意していただきたいこと

本体外観

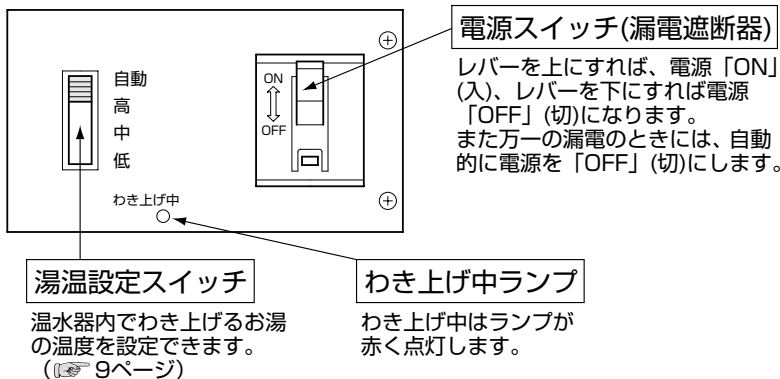
RE3713の例



本体操作部

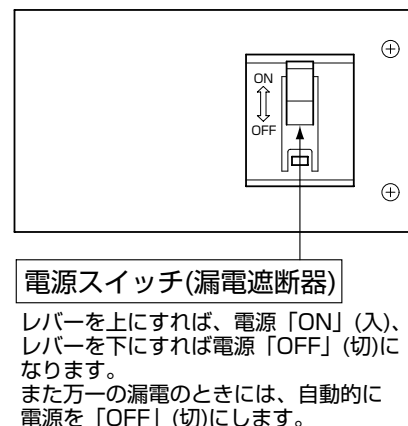
※本体操作窓を開けた部分

●RE2012型/RE3712型/RE4612型



※RE2012型は、湯温設定スイッチと電源スイッチが左右逆になります。

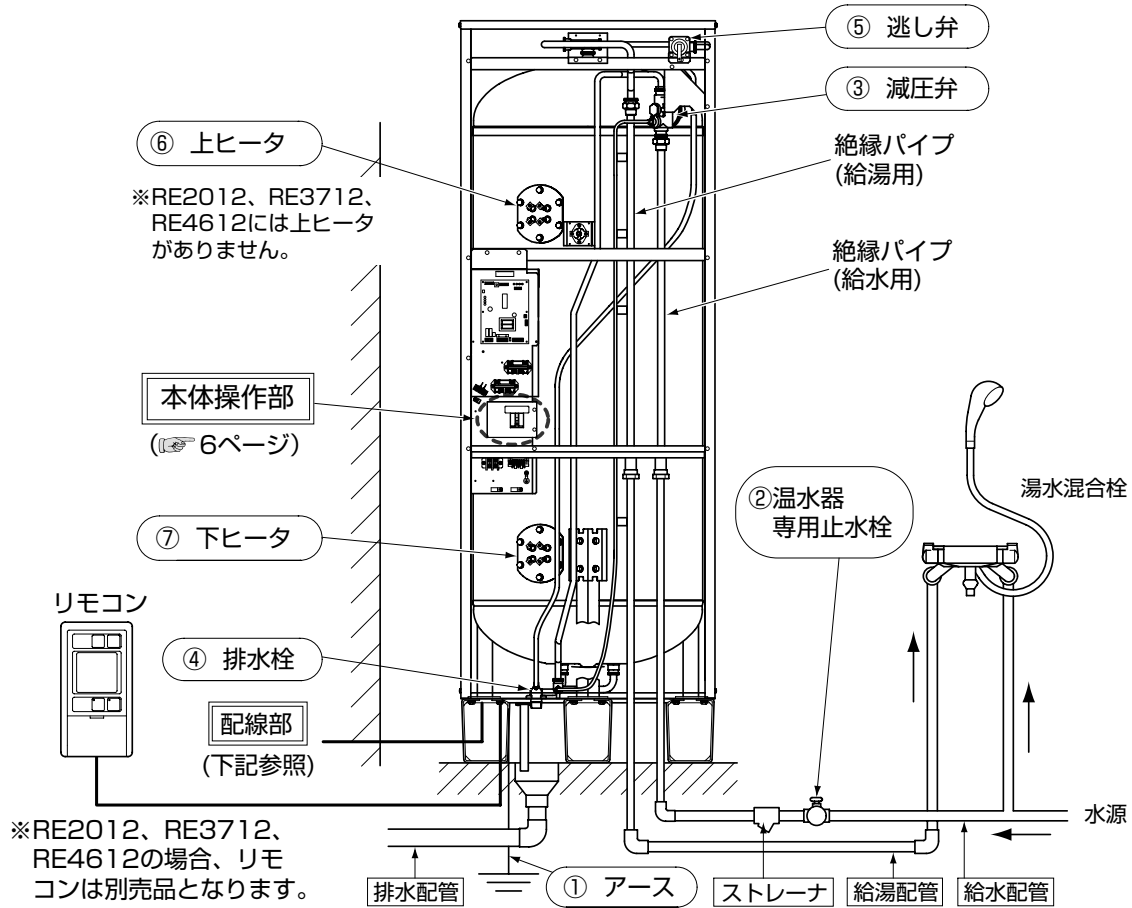
●RE3713型/RE3713U型/RE4613U型



各部のなまえとはたらき

本体内観及び周辺図

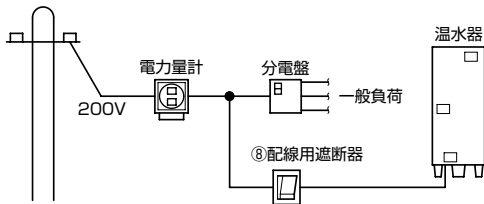
・RE3713の設置例



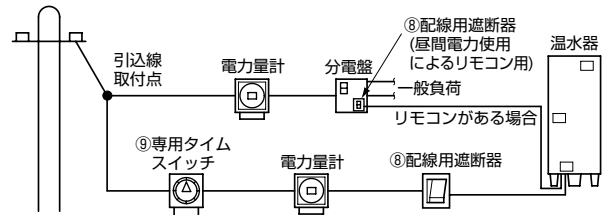
配線例

※配線は電力契約で異なります。
電力契約については、お取付け店（販売店）にご確認ください。

●時間帯別電灯契約



●深夜電力契約



①アース
万一の感電を防ぎます。

②温水器専用止水栓
タンクへの「給水」、
「止水」に使います。

③減圧弁
タンクへの給水圧力を
一定にします。

④排水栓
タンク内の水を排水す
るときに操作します。

⑤逃し弁
わき上げ時の膨張水を
排出しタンク内を一定
の圧力にします。

⑥上ヒータ (RE3713、
RE3713U、RE4613Uのみ)
100ℓわき増し時に
作動します。

⑦下ヒータ
夜間わき上げ時及び全量
わき増し時に作動します。

⑧配線用遮断器
電源の「入」、「切」をします。

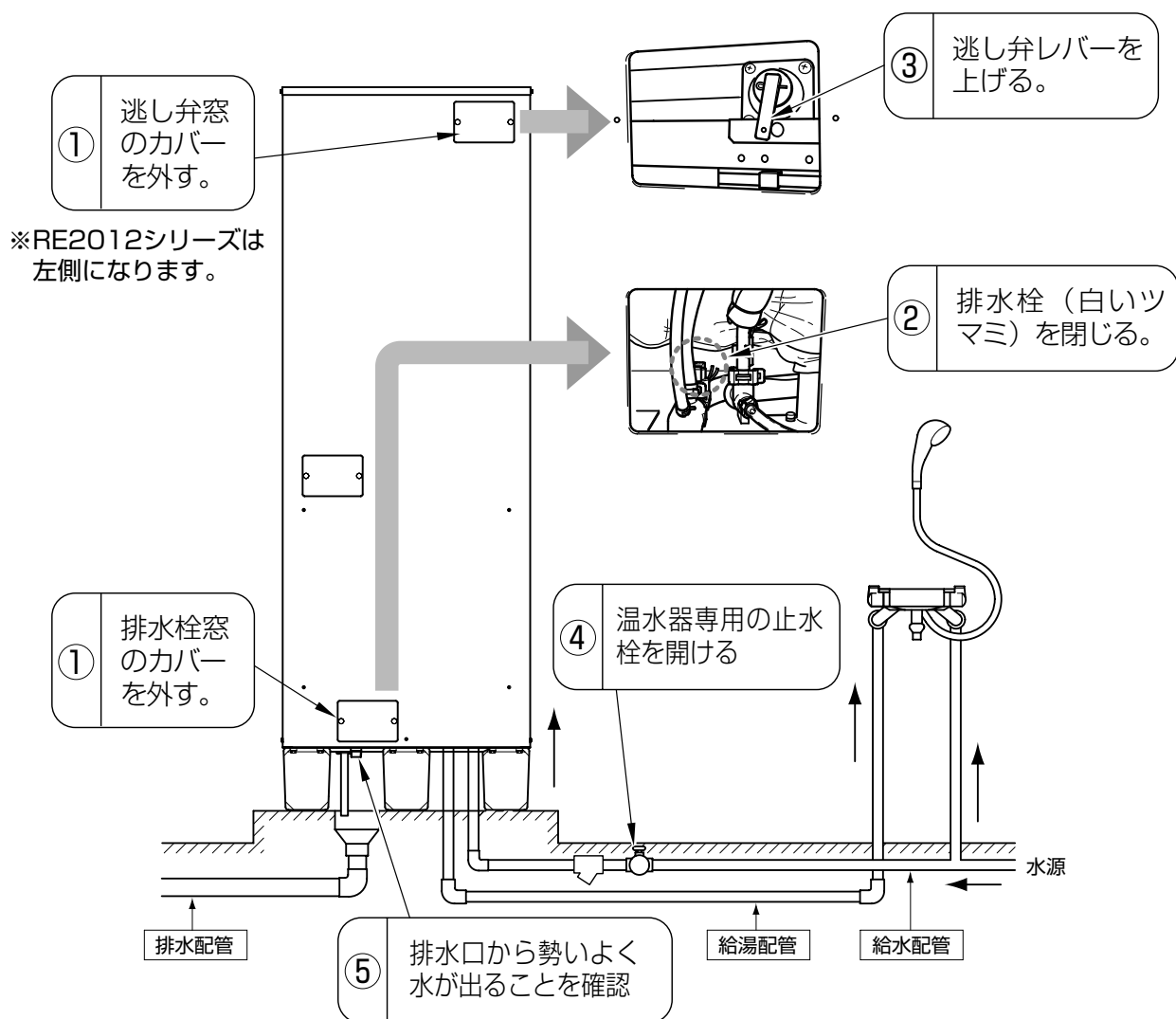
⑨専用タイムスイッチ
深夜電力電源200Vの
供給を自動的に「入」、
「切」します。

✦ 使用前の準備 ✦

最初の給水のしかた

- ① 下部の排水栓点検窓と上部の逃し弁点検窓を外します。
- ② 排水栓が閉まっていることを確認します。(開いているときは、閉めてください。)
- ③ 逃し弁レバーを上げます。(逃し弁開)
- ④ 温水器専用の止水栓を開きます。
- ⑤ 排水口から勢いよく水が出てきたら、タンクが満水になっているので、逃し弁レバーを下げます。(逃し弁閉)
- ⑥ 下部の排水栓点検窓と上部の逃し弁点検窓を取付けます。

使用前の準備
各部のなまめとはたらき



ちょっと一言



- 温水器専用の止水栓を開いてすぐに水がでてきても、配管の中の残水がでてきた可能性がありますのでしばらく給水してください。
- 最初はタンクや配管内のゴミなどを流すためタンクを満水にした後、一度全部排水し、再び給水してください。(19・20ページ)

✦ 使用前の準備 ✦

わき上げのしかた

■6・7ページの「各部のなまえとはたらき」を参照のうえ、操作してください。

- ① 湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認します。
- ② 配線用遮断器を「ON」(入)にします。(☞7ページ)
- ③ 本体の操作窓を外し、電源スイッチ(漏電遮断器)を「ON」(入)にします。
- ④ 本体の操作窓を取付けます。
- ⑤ 夜間の通電時間になると自動的に沸き上げを開始します。

※水温15℃で85℃までわかし上げる場合、約8時間かかります。

(水温が低いと長くかかります。)

⚠ 注意

■必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器、温水器の電源スイッチのレバーを「ON」(入)にする。

(ヒータが空だきとなり故障の原因になります。)



必ず実行

ちよっと一言



- 時間帯別電灯契約でご使用の場合はリモコンの時計の時刻をもとにわき上げを行いますので、必ず正確に時計を現在時刻に合わせてください。(☞12ページ)
- 通電時間帯は午後11時～午前7時までです。(地域により一部異なります。)
- 通電すると逃し弁を通じて、排水口から膨張水が出ますが、異常ではありません。

わき上げ温度設定のしかた

■RE3713、RE3713U、RE4613Uの場合

リモコンでの温度設定になります。

操作方法は、12ページの「お湯のわき上げ温度を変える」をご覧ください。

■RE2012、RE3712、RE4612の場合

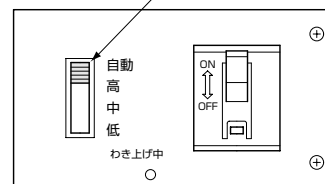
- ① 本体操作窓を開ける。
- ② 湯温設定スイッチを以下の内容に従って設定してください。
「自動」…お湯の使用状況に応じてわき上げ温度を「高」「中」「低」から自動的に選択してわき上げます。

「高」……約85℃までわき上げます。

「中」……約75℃までわき上げます。

「低」……約60℃までわき上げます。

湯温設定スイッチ



※タンク内の水温が低いと設定温度までわき上がらない場合があります。

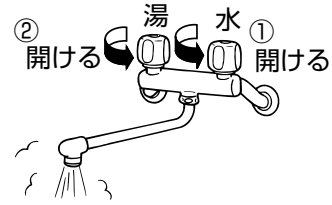
(注) リモコンをお取付けの場合は、リモコンでの温度設定が優先されます。

操作方法は、12ページの「お湯のわき上げ温度を変える」をご覧ください。

お湯を使う

お湯を使うには

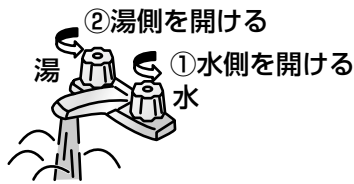
- ①給水栓を開けます。
- ②給湯栓を開けます。
- しばらくするとお湯が出ます。



お湯の出しかた

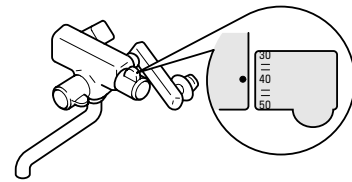
2バルブ混合栓の場合

2バルブ混合栓の場合、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調整してください。



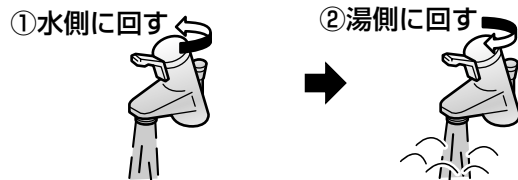
サーモスタット付混合栓の場合

サーモスタット付混合栓の場合は温度調節ハンドルを適温(約40℃)付近にしてお湯を出してください。



シングルレバー混合栓の場合

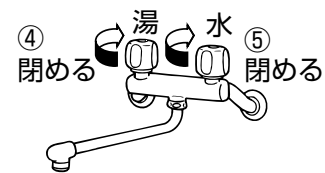
シングルレバー混合栓の場合は、温度調節レバーを水側にして、吐水しながらお湯側にレバーを回し、温度を調整してください。



- ③湯量を調節します。
- 湯量、水量を調節することにより、お好みの湯温に調節します。



- ④給湯栓を閉めます。
- ⑤給水栓を閉めます。



警告

■ やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

- お湯を使うときは、まず水から。
①水側を開ける ②湯側を開ける

- シャワーを浴びるときは、手で温度を確かめてから。



必ず実行



高温注意

- 使用後は必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)

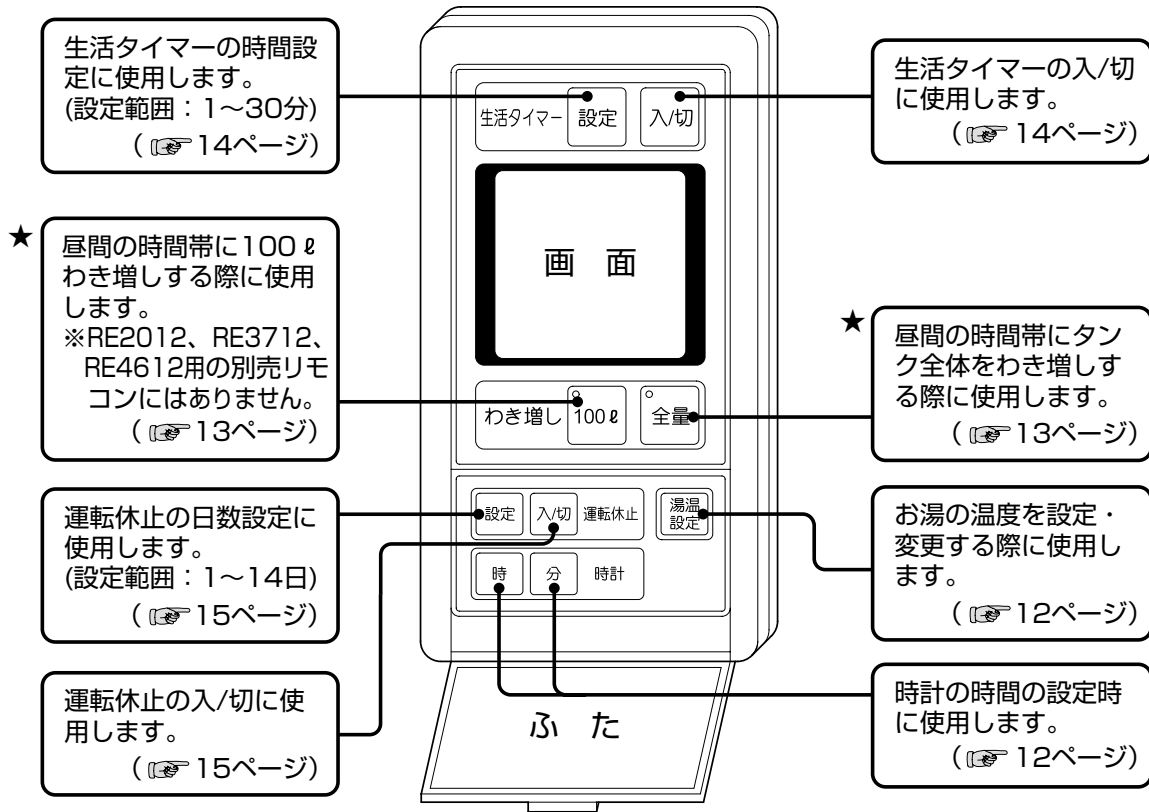


必ず実行

リモコンの使用方法

※RE3712、RE4612の場合、リモコンは別売品となります。

リモコンのはたらき



★…わき増し機能が使えるのは時間帯別電灯契約の場合のみです。
深夜電力契約でご使用の場合はスイッチを押しても受け付けません。

画面の表示内容

時間帯表示

時刻がAM7：00～PM11：00で"昼間"、PM11：00～AM7：00（一部地域では、PM11：00～AM8：00）で"夜間"を表示します。
※深夜電力契約の場合は表示しません。

湯温表示

設定した湯温設定(高:約85℃、中:約75℃、低:60℃、自動)を表示します。

湯量表示

温水器タンク内の残り湯量を表示します。

湯切れ表示

温水器タンク内のお湯が50ℓ(40ℓ)未満になったとき表示します。

わき上げ中表示

わき上げ中(ヒータ通電中)に表示します。

・現在時刻
・生活タイマー残り時間
・運転休止残り日数
・故障コード
を表示します。

画面表示内容:
 時間帯: 昼間 / 夜間 / タイマーあと
 時刻: AM 18:00 / PM 分日 休止
 湯温: 高 / 中 / 低 / 自動
 湯量: 100ℓ / わき上げ中
 湯切れ: 湯切れご注意

リモコン湯量表示	150ℓ(120ℓ)以上	100ℓ(80ℓ)以上	50ℓ(40ℓ)以上	50ℓ(40ℓ)未満
460ℓタイプ	390ℓ以上	150ℓ以上	100ℓ以上	50ℓ未満
370ℓタイプ	300ℓ以上	150ℓ以上	50ℓ以上	50ℓ未満
200ℓタイプ	160ℓ以上	120ℓ以上	80ℓ以上	40ℓ未満

() 内は200ℓタイプの場合

時刻を合わせる



①リモコンのふたを開けてください。

②「時」「分」を押して現在時刻を合わせてください。

「時」を押すと1時間ずつ、表示部の時刻が進みます。

「分」を押すと1分間ずつ、表示部の時刻が進みます。

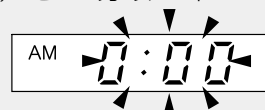
※スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。

設定は以上で完了です。

ちょっと一言

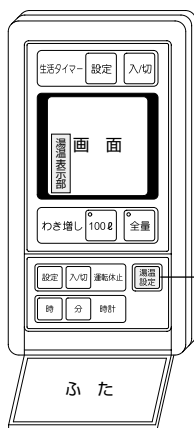


●時間帯別電灯契約の場合は時計の時刻をもとに深夜のわき上げを行いますので、必ず時計を現在時刻に正しく合わせてください。30分以上の停電や電源スイッチ（漏電遮断器）を30分以上「OFF」（切）にした場合などもお買い上げ時（初期通電時）同様に時計表示部が「0:00」で点滅しますので、必ず、時刻を合わせ直してください。



- また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- 時刻は12時間表示です。AM（午前）、PM（午後）を間違えないように合わせてください。
- 深夜電力契約の場合は、時計を設定していなくても深夜のわき上げを行います。

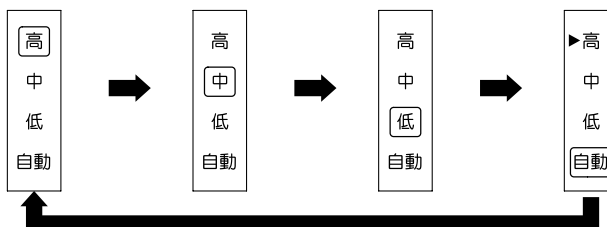
お湯のわき上げ温度を変える



温水器タンク内のお湯のわき上げ温度を設定することができます。

リモコンのふたを開け、「湯温設定」を押してお好みの湯温に合わせてください。

「湯温設定」を押すたびにリモコン表示が、以下の順で切り替わります。（最初は「高」に設定されています。）



※「高」…約85℃、「中」…約75℃、「低」…約60℃、「自動」…お湯の使用状況に応じて、自動的に高中低を選択（▶表示で指示）します。

⚠ **注意** お湯のわき上げ温度を低く設定しても高温のお湯が残っている場合がありますので注意してください。

ちょっと一言



- お湯をたくさん使用するとき（冬期など）は、「高」に設定するとより多くのお湯が使えます。（水と混合させて適温で使用する場合。）
- 短期間にお湯の使用量が大きく変動する場合は、「高」で使用されることをおすすめします。

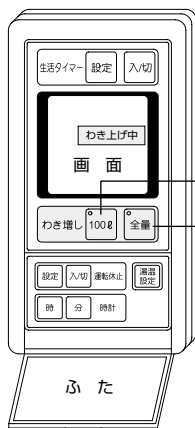
✦ リモコンの使用法 ✦

お湯をたくさん使う（わき増しする）

〈「時間帯別電灯」契約の場合のみ〉

※RE2012、RE3712、RE4612の場合、リモコンは別売品となります。

お湯が不足しそうなどときには、昼間でもタンク内の水をわかすことができます。




① 100ℓ わき増しをする。(RE3713、RE3713U、RE4613U型のみ)

100ℓ わき増しとは、温水器タンク内のお湯が100ℓ以下になると、ヒータが作動し、常に設定温度のお湯を約100ℓ確保する機能です。

(PM11:00になると自動的に解除されます。)

 を押す。 →  スイッチのランプが点灯。

ヒータが作動すると画面に **わき上げ中** と表示されます。(わき増し中にお湯を使用しなければ、約2時間でわき上がります。)

わき増しを途中で止めるときは、もう一度  を押してください。スイッチのランプが消灯します。


② 全量わき増しをする。

全量わき増しとは、温水器タンク内を設定温度のお湯でいっぱいにしておく機能です。来客などで、たくさんのお湯が必要になると予測できるときなどに設定します。

(PM11:00になると自動的に解除されます。)

 を押す。 →  スイッチのランプが点灯。

ヒータが作動すると画面に **わき上げ中** と表示されます。(わき増し中にお湯を使用しなければ、約8時間でわき上がります。入水温が10℃以下の場合は、8時間以上かかります。)

わき増しを途中で止めるときは、もう一度  を押してください。スイッチのランプが消灯します。

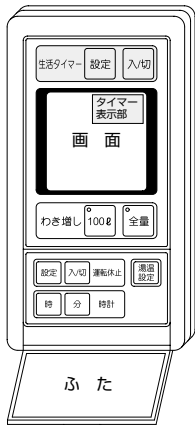
※わき上げ温度を変更する場合は、12ページの「お湯のわき上げ温度を変える」をご覧ください。

ちょっと一言





- **夜間** 表示中は設定できません。
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるため、電気料金は割高になります。
- わき上げには時間がかかりますので、早目にわき増しを設定してください。また、連続して使用された場合は、湯切れすることがありますのでご了承ください。

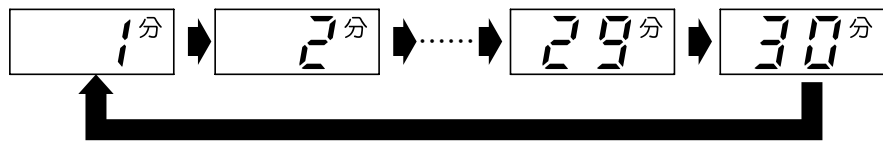
生活タイマーを設定する




1～30分のタイマーが設定でき、時間がきたらブザー（ピピッピピッ）でお知らせします。お風呂にお湯をためるときなどに使用すると便利です。

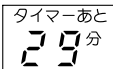
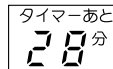
①生活タイマーの  を押してタイマー時間の設定をしてください。

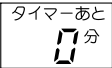
 を押すたびに表示部が




の順に切替わります。（スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。）

②生活タイマーの  を押すと、タイマーがスタートし、表示部が

 →  と、1分刻みでカウントダウンしていきます。



③タイマー表示が  になると、ブザー（ピピッピピッ）でお知らせします。

※タイマーを途中で止めたいときは、もう一度生活タイマーの

 を押してください。

ちょっと一言



- 生活タイマーを使用すると、設定された時間を毎回記憶するので、次回  を押したときには、記憶されている時間が最初に表示されます。
時間を変更したいときには  を何度か押して変更してください。
- タイマー設定時は、時刻の表示はしません。


リモコンの使用方法


運転を休止する

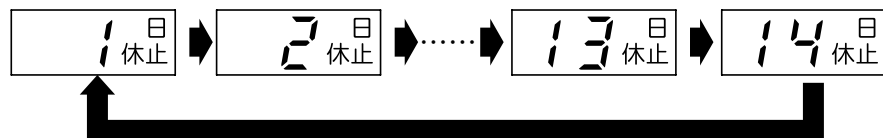


留守中にむだなわき上げをしないように、旅行などで外出するとき1～14日の間で運転を休止させることができます。


①リモコンのふたを開けてください。

②運転休止の  を押して運転を休止する日数を設定します。

 を押すたびに表示部が



の順に切替わります。(スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。)

③運転休止の  を押すと設定した日数、運転を休止します。

表示部は1日ごとに休止日数を減らしていきます。

(AM7:00に表示日数変更)


(例)



AM7:00に表示が
14から13日へ

④設定した休止日数が経過すると、運転を再開します。

※途中で運転を再開したいときは、もう一度運転休止の

 を押してください。

ちょっと一言



●宿泊日数から1引いた日数を設定すれば、帰宅した日からお湯が使えます。

〈設定例〉3泊4日で外出する場合
3-1=2 2日休止で設定します。

※夜間に運転休止を入れて外出した場合や夜間に帰宅する場合の夜は1泊に数えずに設定してください。

●運転休止中は、湯温の設定・変更やわき増しはできません。

●運転休止時は、時刻の表示はしません。

●30分以上の停電があった場合は、運転休止は解除されます。

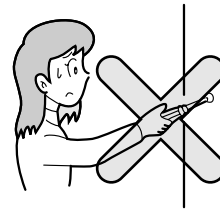
また、その場合時計が未設定状態となるので深夜のわき上げも行いません。

定期的な点検

警告

絶対に分解したり、修理、改造は行わない

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、火災、感電の原因になります)



点検の際のご注意

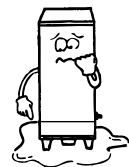
- 機器の前面カバーは外さないでください。
- まわりにガス・灯油類や引火物はありませんか？

警告

電気温水器の近くに、ガス、灯油類や引火物を置かないでください。

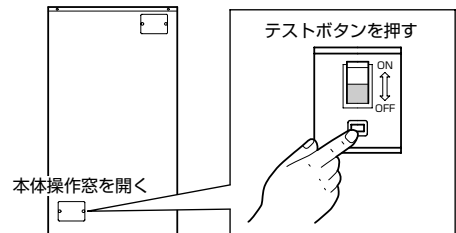
本体の水漏れ確認 (1日1回)

- 電気温水器を設置した床面など周辺に水が漏れてないか確認する。
(特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。)
漏水をしている場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店又は東陶メンテナンス (株) ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。



漏電遮断器の動作確認 (月1回)

- 月に一度、漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認をしてください。
通電時間帯に漏電遮断器のテストボタンを押すと「入」(ON) → 「切」(OFF) になれば正常です。(漏電のときには感電の原因になります。)
テストボタンを押しても「切」(OFF) にならない場合は、お取付け店又は東陶メンテナンス (株) ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
また確認後は、必ず「入」(ON) に戻してください。

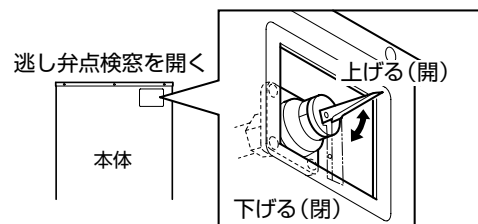


逃し弁の動作確認 (月1回)

- 月に一度、逃し弁のレバーを2~3回上げ下げして必ず動作確認をしてください。
レバーを上げた時に排水口より排水し、下げた時に排水が止まれば正常です。

(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります。)

逃し弁が作動しない場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店又は東陶メンテナンス (株) ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。



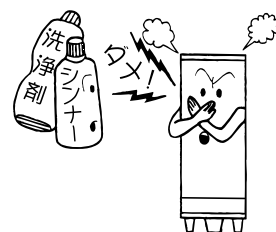
✦ 日常のお手入れ ✦

タンクのお手入れ（月1回）

- 月に一回程度タンクの下部にたまった汚れを排水してください。（☞ 20ページ）
 - ①タンク下部の温度を下げるために、約バケツ1杯分のお湯を使用してください。
 - ②温水器専用の止水栓を閉じます。
 - ③本体の前面カバーの点検窓（3つ）を全て外します。
 - ④本体の電源スイッチのレバーを「OFF」（切）にします。
 - ※深夜電力契約でリモコンを使用している場合はリモコン用の配線用遮断器レバーを「OFF」（切）にしてください。
 - ⑤逃し弁のレバーを上げます（逃し弁開）。
 - ⑥排水栓を開きます。
 - ⑦汚れた水がきれいな水に変わったら排水栓を閉じます。
 - ⑧排水が終わったら、温水器専用の止水栓を開きます。
 - ⑨排水口から水が出てきたら逃し弁のレバーを下げます（逃し弁閉）。
 - ⑩電源スイッチのレバーを「ON」（入）にします。
 - ⑪③で外した前面カバーの点検窓（3つ）を取付けます。

リモコン・機器外装の手入れ（月1回）

- かたく絞った布でふいてください。
汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤をふくませた布でふいてください。
※酸性・アルカリ性の洗剤やシンナーなどは割れの原因になりますので使用しないでください。
- リモコンは絶対に水をかけないでください。
故障の原因になります。
- リモコンは絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。



分解禁止

⚠ 警告

■やけどに注意

- 逃し弁の動作確認時は、逃し弁と排水口に手を触れないでください。
（やけどのおそれがあります。）
- タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。）



接触禁止



禁止

ちよつと一言



- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、排水口より常にお湯が流れて、湯量不足の原因になります。
- 逃し弁は、水からお湯になるときの膨張分の水を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。
- 逃し弁が正常に動作しないと、タンクが破損し、水漏れや故障の原因になります。
- タンクのお手入れは、深夜通電時間帯をさけて、行ってください。湯切れの心配があります。

✦ こんなときは ✦

機器を移設されるときは

⚠ 注意

増改築などのため機器を移設される場合は工事や調整に専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店又はお取付店にご相談ください。

停電のときは

● リモコンが付いている場合

30分以上の停電や本体の電源スイッチを30分以上「OFF」(切)にした場合、時計表示部が「0:00」で点滅します。

その場合は12ページ「時刻を合わせる」をご参照の上、時刻を再設定してください。



断水のときは

- 断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯(水)を生活用水(飲用はできません)として利用できます。(☞ 21ページ)

短期間お使いにならないとき

- 配線用遮断器及び本体の電源スイッチのレバーを必ず「OFF」(切)にしてから温水器専用の止水栓を閉じてください。(☞ 6・7ページ)
- 再びご使用になるときは、タンク内の水を取り換えることをおすすめします。
- リモコンが付いている場合は運転を休止させることができます。(☞ 15ページ)

長期間お使いにならないとき

- 1ヵ月以上使用しないときは、本体の電源スイッチ及び配線用遮断器のレバーを必ず「OFF」(切)にしてからタンクの排水をしてください。
排水のしかたは、19・20ページの「長期間お使いにならないとき(排水のしかた)」をご覧ください。
- 再びご使用になるときは、8・9ページの「使用前の準備」をご覧ください。

テレビやラジオに雑音が入るときは

テレビやラジオを使用中に映像の乱れや雑音が入ることがあります。
また、テレビやラジオは機器本体と離れた場所でご使用ください。

※ こんなときは ※

長期間お使いにならないとき（排水のしかた）

- 長期間使用しない場合は凍結のおそれがありますので、排水してください。
（通常の排水は、17ページの「タンクの手入れ」をご覧ください。）

〔排水手順（20ページ参照）〕

- ① タンク内の温度を下げるため、お風呂などに給湯してお湯を使い切ってください。
- ② 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ③ 本体の前面カバーの点検窓（3つ）を全て外します。
- ④ 本体の電源スイッチを「OFF」（切）にします。
※深夜電力契約でリモコンを使用している場合はリモコン用の配線用遮断器レバーを「OFF」（切）にしてください。
- ⑤ 逃し弁のレバーを上げます。（逃し弁開）
- ⑥ 排水栓を開けます。
（排水口より排水が始まり、約40～50分で水が抜けます。）
- ⑦ 水が抜け終わった後、最後にタンク水抜栓（非常用取水ホース付き）を開けます。
（RE2012は除く）
- ⑧ ③で外した前面カバーの点検窓（3つ）を取付けます。

⚠ 注意

- 排水栓は再給水されるまで開いたままにしてください。
（排水栓を閉じると、タンク内が負圧になり、変形・破損のおそれがあります。）



必ず実行

⚠ 警告

■ やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。）

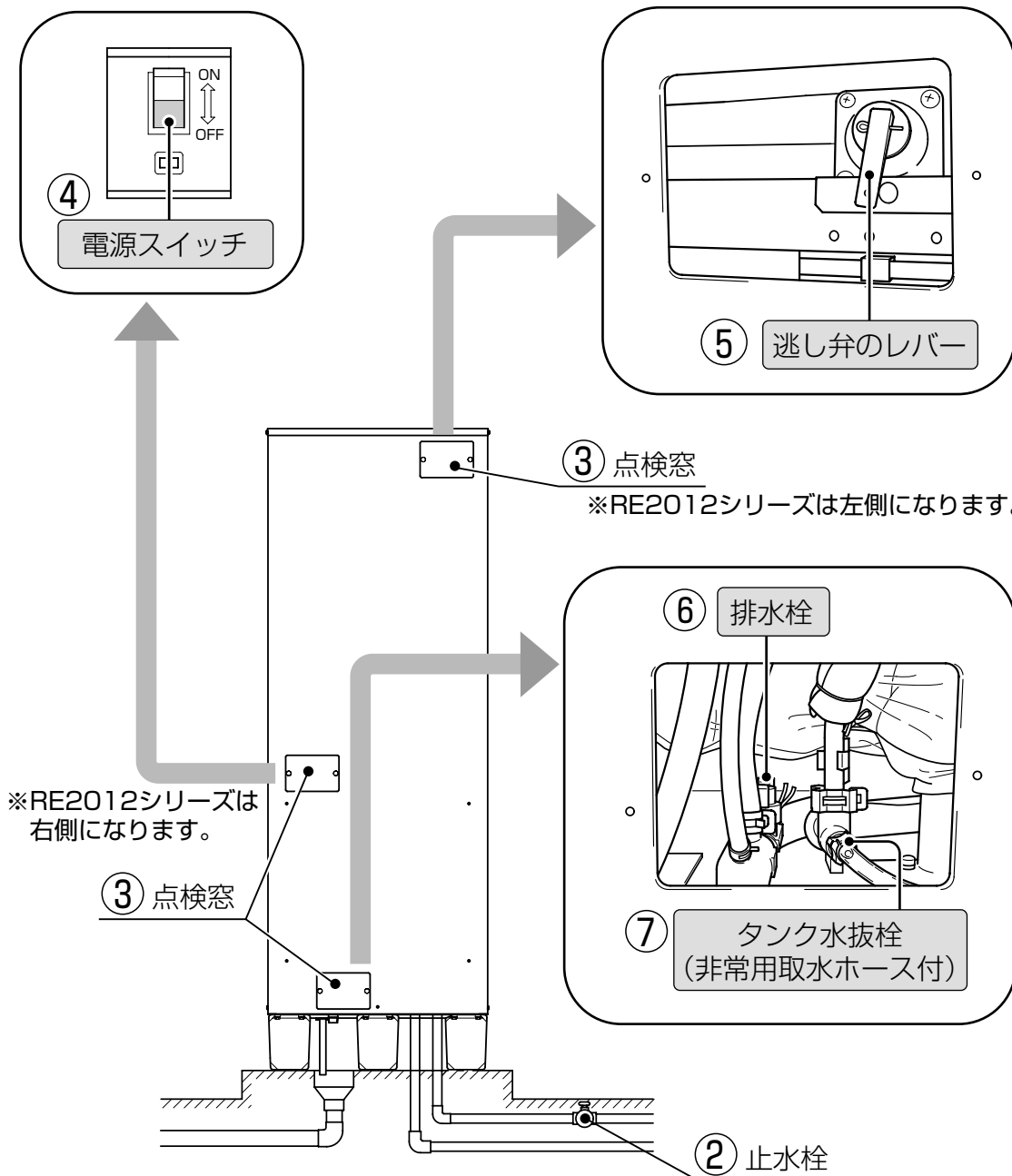


禁止

再給水のしかた

- 再給水を行う場合は、8・9ページの「使用前の準備」をご覧ください。

■排水手順



※図はRE3712シリーズを示す。

ちょっと一言



- 断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水(飲用は不可)として利用できます。(☞ 21ページ)

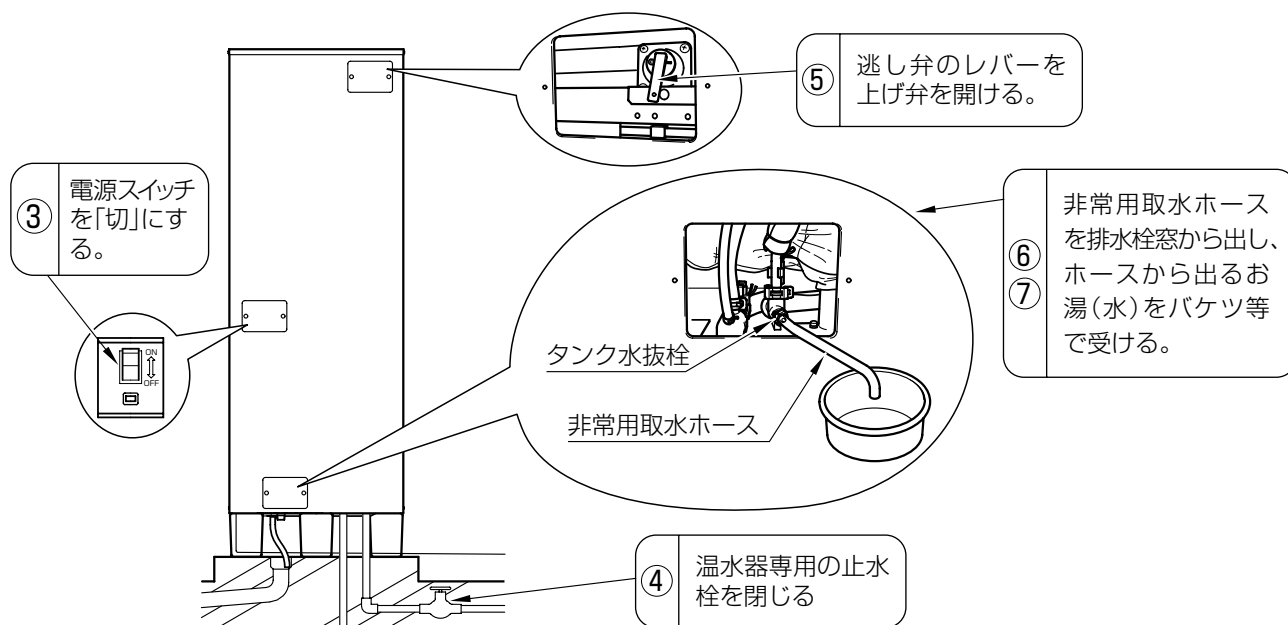
⚠ やけどにご注意ください

断水の時などにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯(水)を生活用水(飲用はできません)として利用できます。

(※RE2012の場合は、前面カバーを開ける必要があります。お買い上げの販売店または工事店に依頼してください。)

- ① お湯(水)を受けるバケツ等を準備してください。
- ② 逃し弁、本体操作窓、排水栓の点検窓(3つ)のカバーを外します。(☞ 6ページ)
- ③ 本体の電源スイッチを「切」(OFF)にします。
- ④ 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ⑤ 逃し弁のレバーを上げます。(逃し弁開)
- ⑥ タンク水抜栓についている非常用取水ホースを排水栓窓から出します。
※非常用取水ホースがタンク水抜栓から抜けないように注意してください。
- ⑦ タンク水抜栓を回して、お湯(水)を取り出します。
ホースから出るお湯(水)をバケツ等で受けてください。
※タンク水抜栓はゆっくり回して湯(水)が出てくる位置で止め、外れないようにしてください。外れると勢いよくお湯が吹き出し、やけどのおそれがあります。
※取水中、タンク水抜栓と非常用取水ホースは熱くなることがありますので、やけどに注意してください。
- ⑧ 取水が終わったらタンク水抜栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げます。(逃し弁閉)
※再給水するときは、「使用前の準備」(☞ 8・9ページ)にしたがって行ってください。
- ⑨ 本体の点検窓(3つ)のカバーを取付けます。



警告

■ やけどに注意

取水時は、やけどに注意してください。

取水中、急に熱湯(最高約85℃)が出る場合があります。



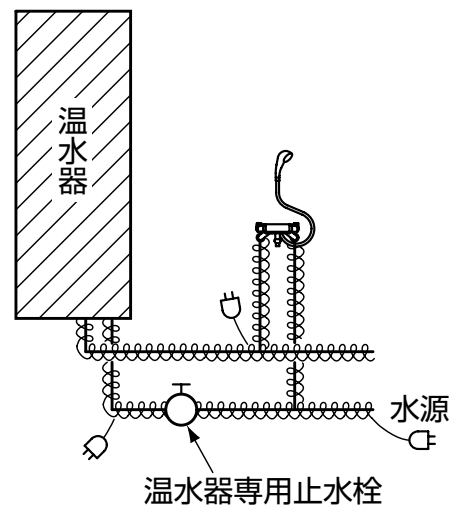
高温注意

❖ 凍結による破損の予防について ❖

- 冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には、減圧弁、逃し弁や配管が凍結し、お湯が出ないばかりでなく、水漏れなどの原因になります。
- 凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結予防対策としては、「凍結予防ヒータによる方法」、「少量の水を流し続ける方法」があり、地域に応じた対策が必要です。どの方法で施工されたのかお取付け店に確認し、その方法にしたがって実施してください。

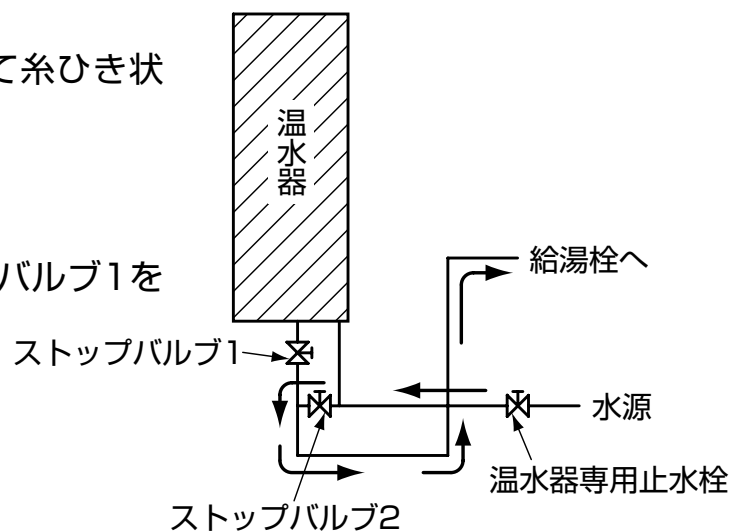
凍結予防ヒータによる方法

- 凍結予防ヒータが図のように巻かれているかを確認してください。
- 凍結予防ヒータは何本も使用されていますので、すべてのヒータのプラグをコンセントに差し込んでください。
- 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いてください。



少量の水を流し続ける方法

- 配管の水を流しながら、凍結を予防する方法です。
 - ① ストップバルブ1を閉じ、ストップバルブ2を開きます。
 - ② 各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態で水を流します。
- 〈翌朝使用するとき〉
- ① 各給湯栓・湯水混合栓を閉じます。
 - ② ストップバルブ2を閉じ、ストップバルブ1を開きます。



こんなときは

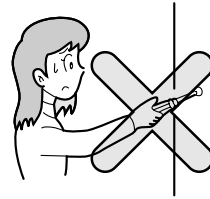
凍結による破損の予防について

❖ 故障かな？と思ったら ❖

⚠ 警告

■絶対に分解したり、修理、改造は行わない

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、火災、感電の原因になります)



分解禁止

修理を依頼される前に

こんなとき	理由
お湯が白く濁ってみえる。	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい気泡になって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害なものです。
お湯から油や臭いが出る。	初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出る場合がありますが、数日使用すると消えます。
急にお湯の出が悪くなった。	他の給湯栓と同時に使用していませんか。
お湯の出が遅い。	機器本体から給湯栓までの距離があれば少し時間がかかります。
機器の排水口からお湯が出る。	お湯を沸かし上げる際にタンクの圧力が高くなり逃し弁からお湯（膨張水）が出ますが異常ではありません。
給湯栓を閉めたときに衝撃音がする。	給湯栓を急閉止したときに、水圧によって発生する音です。
給水・給湯配管に水滴が付着する。	外気温に対して水温が低い場合、空気中の水分が結露して付着します。
浴槽の水が青く見える。	水質によっては、機器の設置後まもなくして発生することがあります。これは、銅パイプの銅イオンが溶出して青く見えるもので、人体には無害なものです。浴槽に付着しないようこまめに掃除をしてください。

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	温水器専用の止水栓は開いていますか。	閉じていたら、開いてください。
	断水ではありませんか。	水道局へ問い合わせてください。断水が終わるまで待ってください。
	配管部分が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。凍結予防ヒータを巻いてください。
お湯の出が少ない。	給湯栓は十分開いていますか。	十分に開いてください。
	他の給湯栓と同時に使用していませんか。	複数の箇所で給湯を同時使用すると、お湯の出が悪くなる場合があります。

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
お湯がわかない。	リモコンが付いている場合 リモコンの時刻表示部が 0:00 で点滅している。 (時間帯別電灯契約の場合)	時間帯別電灯契約の場合は時刻の設定をしてください。 (☞ 12ページ)
	リモコンが付いている場合 リモコンで運転休止が設定されている。	運転の休止を解除してください。 (☞ 15ページ)
	配線用遮断器及びリモコン用の配線用遮断器または電源スイッチ(漏電遮断器)が「OFF」(切)になっていませんか。	「OFF」(切)になっているときは、「ON」(入)にしてください。 ※2度、3度と「OFF」(切)になる場合は、故障の恐れがありますので、お取付け店または東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
	温水器用電力量計が動いていますか。 (午後11時～午前7時の間) 地域により一部異なります。	
リモコンが付いている場合 リモコンの時計が合っていない。	時計を現在時刻に正しく合わせてください。 (☞ 12ページ) 夜間 では昼間のわき増しはできません。	
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用していませんか。	翌朝までお待ちください。 時間帯別電灯契約にてご使用のお客様はわき増しを行ってください。 (☞ 13ページ)
	いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
	タンクへの給水温度が低温ではありませんか。	温水器の残湯量がなく、給水温が10℃以下では85℃までわき上がらないことがあります。
	逃し弁の排水口から昼間もお湯が流れ出ていませんか。	逃し弁の動作確認をしてください。 (☞ 16ページ) ※お湯が止まらないときは、お取付け店又は東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
	給湯、給水管から水漏れしていませんか。	お取付け店にご相談ください。
	湯温の設定は「高」になっていますか。	湯切れするときは、湯温設定スイッチを「高」(85℃) にしてご使用ください。 (☞ 9・12ページ)
	電力契約が第2深夜電力(5時間) になっていませんか	お取付け店または所轄の電力会社にご相談して、電力契約の変更をお願いします。

✦ 故障かな？と思ったら ✦

修理を依頼される前に

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
リモコンが付いている場合 わき増しができない。 (時間帯別電灯契約の場合)	電力料金の契約が「深夜電力契約」になっている。	契約が「深夜電力契約」の場合は、わき増しを利用できません。 契約については電力会社へご相談ください。
	リモコンの時計が合っていない。	時計を現在時刻に正しく合わせてください。 (☞ 12ページ) [夜間] では昼間のわき増しはできません。
リモコンが付いている場合 液晶画面に故障コード (数字3桁) を表示している。	—	機器の診断が必要です。故障コードを確認の上、配線用遮断器を切り、お取付け店または東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。

✦ 定期的な部品交換のお願い ✦

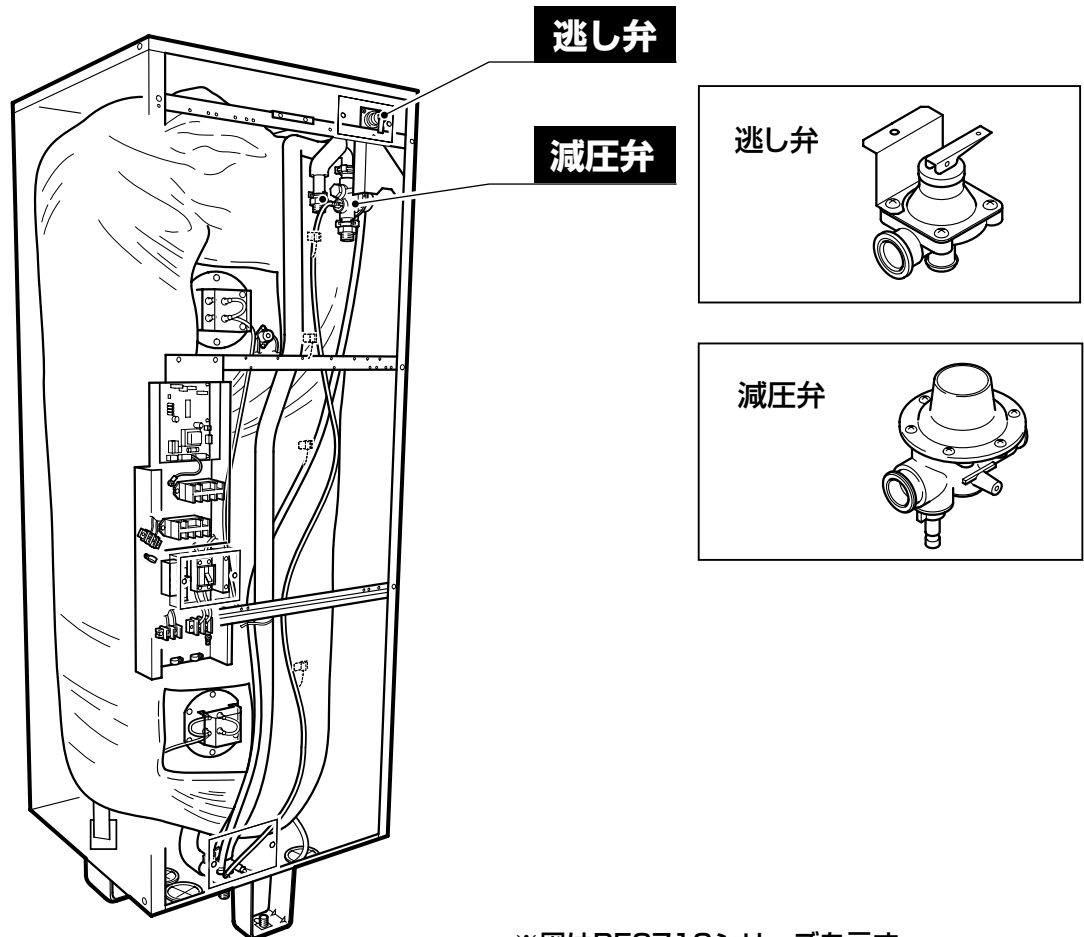
安全・快適にご利用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

減圧弁・逃し弁は劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので定期的に交換してください。（有料）

部品の寿命における、一般的な交換時期のめやすは以下の通りです。

部品名	交換時期のめやす (お取付け日より)	交換の理由
逃し弁	5年	長期間使用すると、水質・わき上がり温度・使用頻度など使用する条件によって変わりますが、弁体部が水中のスケールによって動かなくなったり、腐食し水漏れしたりすることがあります。水漏れが起きた場合、大きな被害を与えることがあります。
減圧弁		

なお、交換についてはお取付け店又は東陶メンテナンス（株）☎ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご相談ください。



※図はRE3713シリーズを示す。

定期的な部品交換のお願い
故障かな？と思ったら

✦ アフターサービス ✦

点検・修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(23~25ページ)を見て、もう一度ご確認ください。

保証書(製品に同梱されています。)


- この製品は保証書の内容にしたがって保証されます。必ず「お取付け店・お取付け日・扱者印」が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証について

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書・施工説明書、貼り付けラベルなどの注意にしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎているときは
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみ」(本ページ内)をご確認ください。

修理を依頼されるときは

- 修理を依頼されるときは、お取り付け店または東陶メンテナンス(株)にご相談ください。
- 点検・修理をお申しつけのときは、次のことをご知らせください。

- ① 型式(電気温水器に貼ってある銘板で確認  7ページ)
- ② 不具合現象の内容
- ③ 取付年月日
- ④ お名前・住所・電話番号
- ⑤ お宅までの道順

銘板

型式をご確認ください。

深夜電力対応電気温水器

型 式	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
貯 湯 量	
沸上がり温度	
最高使用圧力	
満水時質量	

ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ TEL ☎ 0120-03-1010 FAX ☎ 0120-09-1010 受付時間：平日 9:00~18:00 土・日・祝日 10:00~18:00 (夏期休暇・年末年始を除く) インターネットホームページ http://www.toto.co.jp/	アフターサービスについてのご用命は東陶メンテナンス(株)へ TEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02 受付時間：関東・甲信越地区 8:00~20:00 ：上記以外の地区 9:00~20:00
--	--

修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の製造打切り後、10年保有しています。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

部品の交換について

無料修理により交換された部品・製品は、東陶機器(株)の所有となります。

仕様

製品仕様

型式	RE3713/ RE3713B ※	RE3712/ RE3712B ※	RE4612/ RE4612B ※	RE2012/ RE2012B ※
名称	深夜電力対応電気温水器			
タイプ	角型配管内蔵型（給湯専用タイプ）			
設置形態	屋内・屋外・マンション兼用型			屋内・軒下・マンション兼用型
適用電力制度	時間帯別電灯契約 (深夜電力8時間通電制御型切替可)	深夜電力8時間通電制御型 (時間帯別電灯切替可)		
貯湯量	370L	370L	460L	200L
電源	時間帯別電灯契約時 主電源	単相200V		
	補助電源	(接続不要)		
	深夜電力 主電源	深夜電力：単相200V		
	補助電源	単相200V	(接続不要) リモコン取付時は単相200V	
定格消費電力	上部ヒータ	4.4kW	—	—
	下部ヒータ	4.4kW	4.4kW	5.4kW
	制御用	4W	4W	4W
最高使用水圧	97kPa (逃し弁設定値)			
通常使用水圧	85kPa (減圧弁設定値)			
外形寸法 (mm)	641(幅)×693(奥行)×1865(高さ)		641(幅)×693(奥行)×2200(高さ)	550(幅)×500(奥行)×1900(高さ)
製品質量 (満水質量)	約66 (436) kg	約65 (435) kg	約73 (533) kg	約50 (250) kg
接続口	給水・給湯接続口径	R3/4 おねじ		
	排水接続口径	R3/4 おねじ		
制御方法	サーミスタによる湯温検知			
わき上がり温度	約85℃、約75℃、約60℃、自動 (約85℃または75℃または60℃)			
ソーラー接続	不可			
材質	ケース	塗装鋼板		
	タンク	高耐食フェライト系ステンレス鋼 (YUS 190)		
	ヒータ	高耐熱耐食合金シーズヒータ		
安全装置	漏電遮断器・温度過昇防止器			
付属部品	取扱説明書、施工説明書、保証書、化粧ネジ、サービスラベル、			
	上部振れ止め金具、上部振れ止め金具止めネジ、リモコン、リモコン施工説明書	上部振れ止め金具、上部振れ止め金具止めネジ		—

※ RE3713B、RE3712B、RE4612B、RE2012BはBL認定品です。

仕 様

製 品 仕 様

型 式	RE3713U/RE3713UB ※	RE4613U/RE4613UB ※	
名 称	深夜電力対応電気温水器		
タ イ プ	角型配管内蔵型 (給湯専用タイプ)		
設 置 形 態	屋内・屋外・マンション兼用型		
適 用 電 力 制 度	時間帯別電灯型 (深夜電力8時間通電制御型切替可)		
貯 湯 量	370L	460L	
電 源	時間帯別 電灯契約時	主電源 単相200V	
		補助電源 (接続不要)	
	深夜電力 契約時	主電源 深夜電力：単相200V	
		補助電源 単相200V	
定 格 消 費 電 力	上部ヒータ	4.4kW	5.4kW
	下部ヒータ	4.4kW	5.4kW
	制 御 用	4W	
最 高 使 用 水 圧	170kPa (逃し弁設定値)		
通 常 使 用 水 圧	150kPa (減圧弁設定値)		
外 形 寸 法 (mm)	641(幅)×693(奥行)×1865(高さ)	641(幅)×693(奥行)×2200(高さ)	
製 品 質 量 (満 水 質 量)	約66 (436) kg	約74 (534) kg	
接 続 口	給水・給湯接続口径	R3/4 おねじ	
	排水接続口径	R3/4 おねじ	
制 御 方 法	サーミスタによる湯温検知		
わ き 上 が り 温 度	約85℃、約75℃、約60℃、自動 (約85℃または75℃または60℃)		
ソ ー ラ ー 接 続	不可		
材 質	ケ ー ス	塗装鋼板	
	タ ン ク	高耐食フェライト系ステンレス鋼 (YUS 190)	
	ヒ ー タ	高耐熱耐食合金シーズヒータ	
安 全 装 置	漏電遮断器・温度過昇防止器		
付 属 部 品	取扱説明書、施工説明書、保証書、化粧ネジ、サービスラベル、 上部振れ止め金具、上部振れ止め金具止めネジ、リモコン、リモコン施工説明書		

※ RE3713UB、RE4613UBはBL認定品です。

✦ 事業者様へのご案内 ✦

RE3713U、RE3713UB、RE4613U、RE4613UBのみ

『労働安全衛生法施行令（労安法）』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法』（以下労安法）が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が許可されました。労安法の規定において、従来の電気温水器は「簡易ボイラー」に区分されますが、高圧力型電気温水器は「小型ボイラー」に区分されます。

- 簡易ボイラー：労安法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要、定期点検の義務もありません。
- 小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積2m²（40kW）以下・水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器です。
労安法が適用になり、「事業所」に設置・使用される場合は、「事業者」様が労働安全衛生法令上、「設置報告」・「定期自主検査」・「特別教育」・「事故報告」を実施することが義務付けられています。
ここでいう「事業者」とは、事業を行う者のうち、労働者（賃金を支払われる者）を使用する者をいいます。ただし、同居の親族のみでの事業や事務所に対しては適用されません。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

【設置報告】

事業者様が高圧力型電気温水器を設置する時は、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務付けられています。

【定期自主検査】

事業者様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために定期自主点検を実施することが義務付けられています。

【特別教育】

事業者様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために特別教育を実施することが義務付けられています。

【事故報告】

高圧力型電気温水器の事故などが発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務付けられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかを確認する必要があるため事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図（本体同梱）及び小型ボイラー明細書（本体同梱）ならびに小型ボイラー設置の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。小型ボイラーを同一事業所内で移転した場合は、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書が必要になります。

定期自主検査 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体

- ・製品本体からの水漏れの有無
- ・漏電遮断機の作動状況
- ・逃し弁の作動状態および漏れの有無
- ・タンクの手入れ

配管

- ・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の16、17ページ「定期的な点検」「日常のお手入れ」を参照してください。なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

事業者様へのご案内

特別教育 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の項目

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ボイラーの構造に関する知識 | 4. 小型ボイラーの運転及び保守 |
| 2. ボイラーの付属品に関する知識 | 5. 小型ボイラーの点検 |
| 3. 関係法令 | |

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。当取扱説明書を使用して、製品の取扱説明を行ってください。

事故報告 適用法令 → 労働安全衛生規則第96条

事業者様は小型ボイラーの破損の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

関係法令

(1) ボイラー及び圧力容器安全規則

設置報告

第91条 1 事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書（様式第26号）に機械等検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書（同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。）ならびに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

定期自主検査

第94条 1 事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。

2 (1) 小型ボイラーにあつては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無
(2) 小型圧力容器にあつては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は摩耗の有無

3 事業者は、前項ただし書きの小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号にあげる事項について自主検査を行わなければならない。
事業者は、前2項の自主検査を行ったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

特別教育

第92条 1 事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行わなければならない。

2 前項の特別の教育は、次の科目について行うものとする。

1 ボイラーの構造に関する知識	4 関係法令
2 ボイラーの付属品に関する知識	5 小型ボイラーの運転及び保守
3 燃料及び燃焼に関する知識	6 小型ボイラーの点検

3 安衛則第37条及び第38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

(2) 労働安全衛生規則

事故報告

第96条 1 事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。(1～2略)

3、小型ボイラー、令第1条5号の第1種圧力容器及び同条7号の第2種圧力容器の破裂の事故が発生したとき(以下略)

高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に適用される法令として以下のものがあります。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| ・労働安全衛生法（昭和47年法律第57号） | ・労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号） |
| ・労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号） | ・ボイラー又は圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号） |

MEMO
